

# 保育理念に基づく行動指針“私たちの約束”

保育理念「個を受容し、共感するなかで主体性を育む」に基づき、保育者・教育者として

(以上児 Ver)

10の約束を意識しながら保育展開をしてまいります。



## 1. 笑顔いっぱい保育します。

- ・職員同士楽しく保育しています。
- ・危ないことや、しっかり伝えたい時には真剣な表情で話すこともありますが、園生活が楽しめるよう雰囲気作りを行い、笑顔で保育することを心がけています。



## 2. 子ども一人一人と向かい合って、良いところを見出し、ほめることを大切にします。

- ・子ども同士のやりとりや、小さな成長を見逃さないよう丁寧に保育しています。
- ・認め合う気持ちを大切にできるよう、できたときは一緒に喜び合い意欲を高めていきます。



## 3. やりたい気持ちを育てるために、楽しく遊べる保育環境を提供します。

- ・やりたい気持ちに寄り添い、子どもたち自身が考え遊びを展開できる時間を作っています。
- ・季節に合った絵本や、年齢に合った玩具を用意しています。



## 4. 子どもの意欲を受け止め、達成感が味わえるように援助します。

- ・自分でやりたいときはそばで見守り、1人でできた嬉しさや達成感が味わえるようにします。
- ・さりげなく援助をし、一緒にやってみようとして声をかけ、できた嬉しさが味わえるようにします。
- ・活動内容や公園場所など、子どもと相談しながら決めるなど内容に合わせ意見を尊重し実行します。
- ・年上児が遊んでいる、やっている事に興味を持ち「やりたい」と思う気持ちを大切に挑戦する機会をもてるようにします。



## 5. 日々のどんな小さな成長も保護者と共有します。

- ・成長した面や頑張ったこと、ケンカや注意したこと泣いてしまったことなど、些細なことでも送迎時に話し、保護者との信頼関係を大切に成長を共に喜び合えるようにしています。
- ・配慮が必要な子には個別ノートを作成し、どのような声かけがいいのかなど職員で共通認識できるようにしています。



## 6. 「ヒヤリ」とすることを見直しします。

- ・子ども目線で周囲を見渡し危険がないか、環境構成は大丈夫か確認します。
- ・ヒヤリとしたことを書類にまとめるだけでなく、クラスで共有し日々の保育に活かします。



## 7. 年齢に合わせた環境の中で、様々な体験・経験ができるように意識して保育します。

- ・縦割りクラスですが、子どもたちの発達に合わせ学年ごとに分かれる時間や、異年齢で遊ぶ楽しさを感じられるよう合同で保育するなど、発達やねらい、目標に向けて話し合いながら活動を決めています。



## 8. 丁寧な言葉遣いや態度、マナーを心がけます。

- ・子どもの耳に入ること、手本になることを常に意識し、正しい言葉使いやマナーを心がけています。
- ・毎日笑顔で挨拶します。



## 9. PDCAを意識し、一人一人に合わせた保育を実施します。

- ・活動や行事など反省を共有し次回につなげています。
- ・子どもの関わりや出来事など些細なことでも日々話し合い、共有すると共に対応について考えています。



## 10. 「保育は共有」－ あせらず、せかさず、子どもたちと共に成長していきます。

- ・子どもの行動を振り返り、プロセスの中に良い姿を見つけて伸ばせるようにしています。
- ・子どもの個性やペースを大切にしながら、楽しく過ごすことができるよう、焦らず保育することを心がけています。